

YMアセット・ 優良米国株ファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第29期（2024年7月22日決算）

第30期（2024年10月21日決算）

作成対象期間（2024年4月23日～2024年10月21日）

第30期末（2024年10月21日）	
基準価額	12,776円
純資産総額	12,233百万円
第29期～第30期	
騰落率	6.8%
分配金合計	1,000円

（注）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

●交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

●当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記の当社ホームページを開く

⇒「ファンド情報」を選択

⇒「ファンド名」を選択

⇒ファンド詳細ページから「運用報告書（全体版）」を選択

●運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付を希望される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「YMアセット・優良米国株ファンド 愛称：トリプル維新（プレミアム合衆国）」は、このたび、第30期の決算を行ないました。

当ファンドは、米国の株式を実質的な主要投資対象とし、値上がり益の獲得を通じ、信託財産の成長をめざしております。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、第29期、第30期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

YMfg | ワイエムアセットマネジメント

山口県下関市竹崎町四丁目2番36号

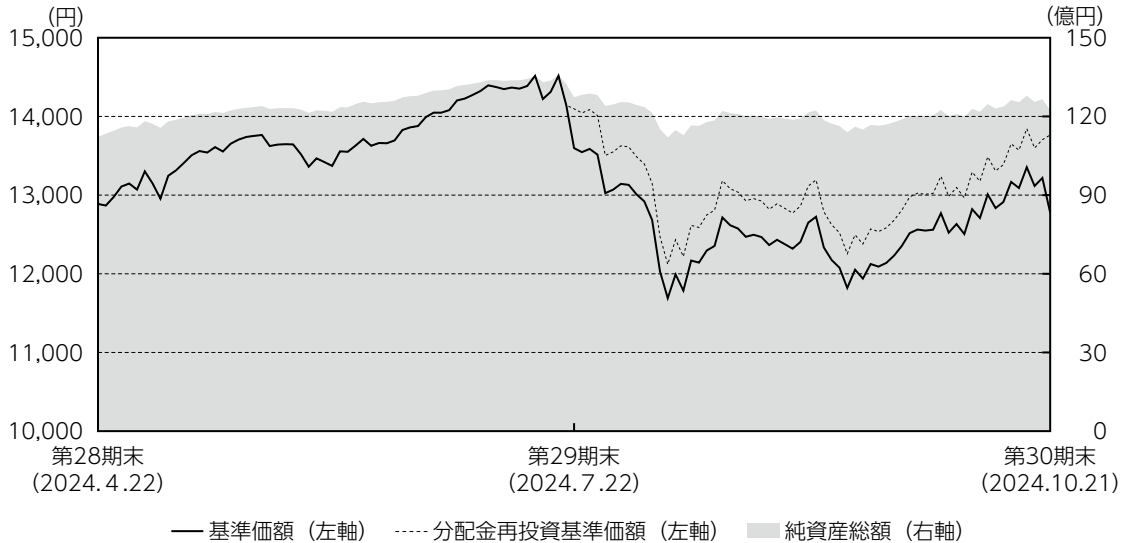
お問い合わせ先 083-223-7124

（営業日の9：00～17：00）

ホームページ <http://www.ymam.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第29期首：12,888円

第30期末：12,776円 (既払分配金1,000円)

騰落率：6.8% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

当作成期において、基準価額は0.9%の下落、分配金再投資基準価額は6.8%の上昇となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第29期～第30期		項 目 の 概 要
	(2024年4月23日～2024年10月21日)		
	金 額	比 率	
信託報酬	63円	0.480%	信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）×各期の日数／年間の日数 期中の平均基準価額は13,161円です。
（投信会社）	(25)	(0.192)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(36)	(0.274)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝各期中の売買委託手数料／各期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝各期中の有価証券取引税／各期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.005	その他費用＝各期中のその他費用／各期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
合 計	64	0.485	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

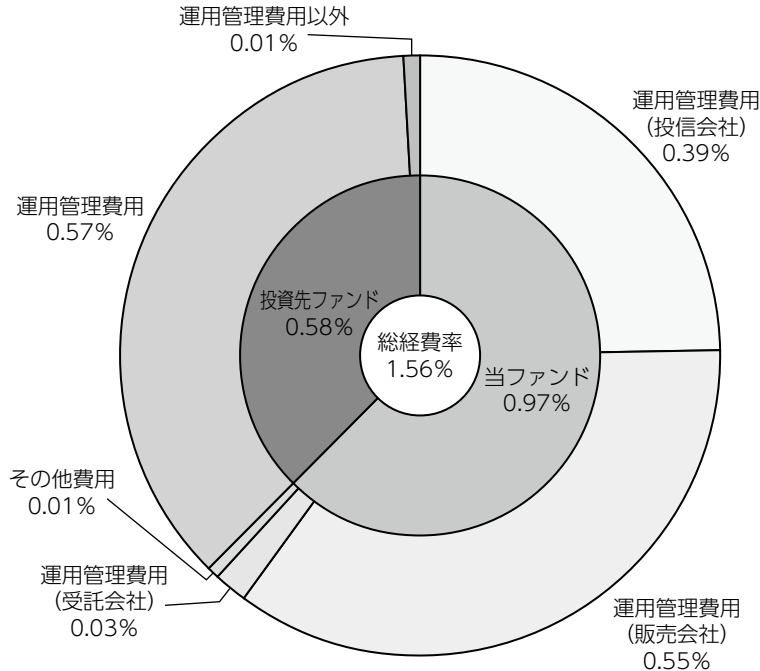
(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

参考情報

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.56%です。



総経費率 (①+②+③)	1.56%
①当ファンドの費用の比率	0.97%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

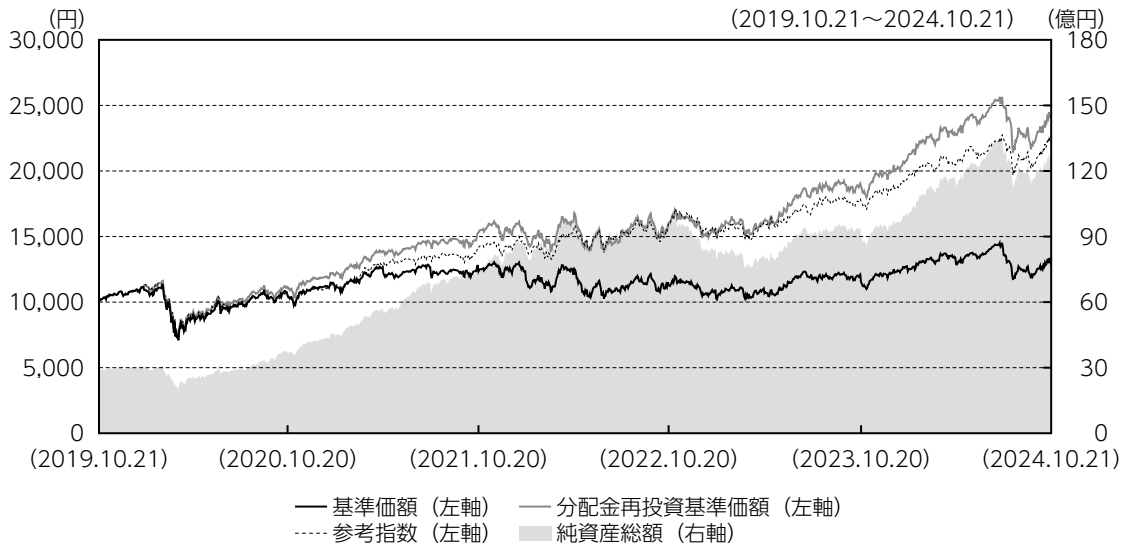
(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額、参考指数は、2019年10月21日の基準価額をもとに指数化したものです。

(注2) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

*参考指数は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース) です。

	2019年10月21日 決算日	2020年10月20日 決算日	2021年10月20日 決算日	2022年10月20日 決算日	2023年10月20日 決算日	2024年10月21日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,304	10,487	12,347	11,273	11,502	12,776
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	670	1,850	1,650	1,550	2,000
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	8.3	37.1	5.1	17.0	29.3
ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース) 騰落率 (%)	—	2.6	33.5	13.1	10.8	28.7
純資産総額 (百万円)	2,913	3,662	7,339	9,467	8,934	12,233

(注1) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース) は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しております。

(注2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (ダウ工業株30種) とは、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスL L Cが米国を代表する30銘柄を選出し指数化したものです。日本では、「ダウ平均」、「NY (ニューヨーク) ダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスL L Cは、その運用成果および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース) は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均をもとに、委託会社が計算したものです。

投資環境について

◎米国株式市況

- ・当作成期の米国株式市況は上昇しました。
- ・当作成期首から2024年8月にかけて、年初来の株式市況を牽引していた大型ハイテック株の調整が入り下落する局面があったものの、全体としては消費者物価指数（CPI）などの経済指標はインフレ鈍化がうかがえる結果となり、長期金利は低下し、株価は上昇しました。その後は、9月中旬の連邦公開市場委員会（FOMC）において大幅な利下げが決定されたことや、堅調な経済指標を背景に景気のソフトランディング（軟着陸）期待が高まったことから株価は上昇し、期間の初めに比べ株価は上昇しました。

◎為替市況

- ・当作成期首に比べ、米ドル安・円高となりました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

- ・当ファンドは、次世代米国代表株ファンド（FOFs）（適格機関投資家限定）とマネープールファンド（FOFs）（適格機関投資家限定）に投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通して、次世代米国代表株ファンド（FOFs）（適格機関投資家限定）の受益証券を高位に組み入れました。

○次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）

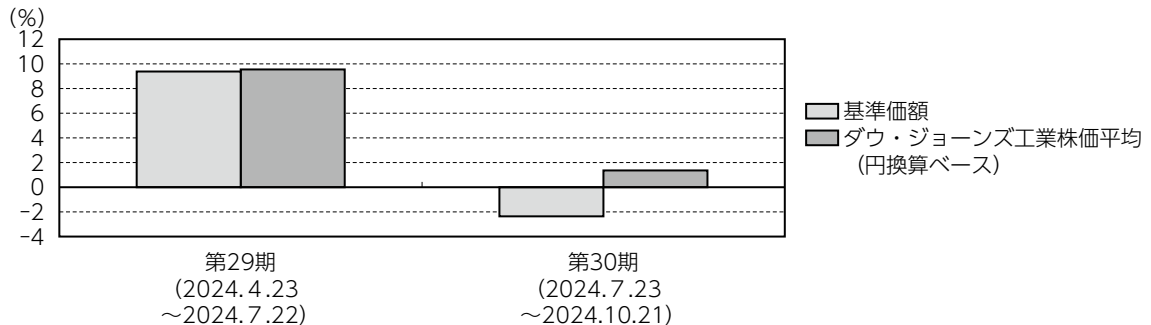
- ・基準価額は当作成期首に比べ7.4%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。
 - ・米国の株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。銘柄選定にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、約30銘柄に投資を行ってまいりました。
 - ・米国の強みでもあるインターネットとそれに伴う消費関連分野、AIを含むソフトウェアとそれを支える半導体、ヘルスケア領域における先進的な医療など、中長期的に妙味があると考えられる領域で事業を行う企業の成長に注目しました。同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応する企業にも目を配りました。
 - ・当作成期間においては、インフレへの懸念が徐々に和らいでいることに加え、景気動向が堅調に推移しているなど、株式市況を取り巻く環境は好転していると考えました。しかしながらインフレ自体は依然として高い水準にあり、金融政策の緩和方向への転換を促すには、経済指標などにインフレの低下傾向が、なお継続的に確認される必要があると考えました。同時に、急速な利上げが、遅行して景気を冷やすことによる景気後退リスクも完全に払拭されたわけではなく、金融環境の好転により下値は限定的と考える一方で、2023年10月下旬以降の上昇ペースが速かったことなどから、いったん利益確定の売りが出ることも予想され、現行水準からの上値は当面重いと考えました。このような中、中長期的には業績拡大余地の大きい銘柄への投資を基本としポートフォリオを構築しました。
 - ・適宜銘柄の見直しを行った結果、期間の初めと期間末では、半導体メーカーである「ADVANCED MICRO DEVICES」、スポーツ用品ブランドである「NIKE INC -CL B」を全売却し、半導体メーカーである「NVIDIA CORP」、先進運転支援システムと自動運転システムの開発・展開を行う「MOBILEYE GLOBAL INC-A」を新規買付しました。
 - ・企業ごとの業績動向を踏まえつつ、株価の動きに対応した個別銘柄の組入比率調整を適宜行いました。
- ### ○マネープールファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース））との騰落率の対比です。

参考指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。



(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

分配金について

1万口当り分配金（税込み）は第29期は500円、第30期は500円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第29期	第30期
	2024年4月23日 ~2024年7月22日	2024年7月23日 ~2024年10月21日
当期分配金（税込み）（円）	500	500
対基準価額比率（%）	3.55	3.77
当期の収益（円）	500	—
当期の収益以外（円）	—	500
翌期繰越分配対象額（円）	3,596	3,007

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第29期	第30期
(a) 経費控除後の配当等収益	49.27円	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	1,095.98	0.00
(c) 収益調整金	1,387.54	1,414.94
(d) 分配準備積立金	1,564.02	2,092.84
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	4,096.81	3,507.78
(f) 分配金	500.00	500.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	3,596.81	3,007.78

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

○当ファンド

・次世代米国代表株ファンド（FOF s用）（適格機関投資家限定）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○次世代米国代表株ファンド（FOF s用）（適格機関投資家限定）

・インフレが鎮静化し、金融政策は利下げ方向へと転換しました。同時に、景気と企業業績は比較的堅調に推移しているなど、景気のソフトランディングの可能性が高まり、株式市況を取り巻く環境は好転しつつあると判断します。一方で、2024年の年初来の市況上昇を受け、利益確定と見られる売りも見られ、需給面から市況の重荷となると考えます。当面は、このような好悪材料が拮抗する状況が予想され、下値は限定的であるものの、現行水準からの上値もまた重いと予想しています。

・米国特有の大きなイノベーションが起こっている分野に注目して、変化に機動的に対応し、恩恵を受け得る新しい次世代企業に投資します。景気や金利の動向についての不透明感は、完全には払拭されていない状況ですが、マクロ動向の如何にかかわらず、イノベーションなどの中長期的な投資テーマに変化はないものと考えます。

・現在は、米国の強みでもあるインターネットとそれに伴う消費関連分野、AIを含むソフトウェアとそれを支える半導体、ヘルスケア領域における先進的な医療など、中長期的に妙味があると考えられる領域で事業を行う企業の成長に注目しています。同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応し続けている優良企業にも目を配っています。投資対象銘柄の中長期的な成長余地は大きいと判断します。

○マネープールファンド（FOF s用）（適格機関投資家限定）

・コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

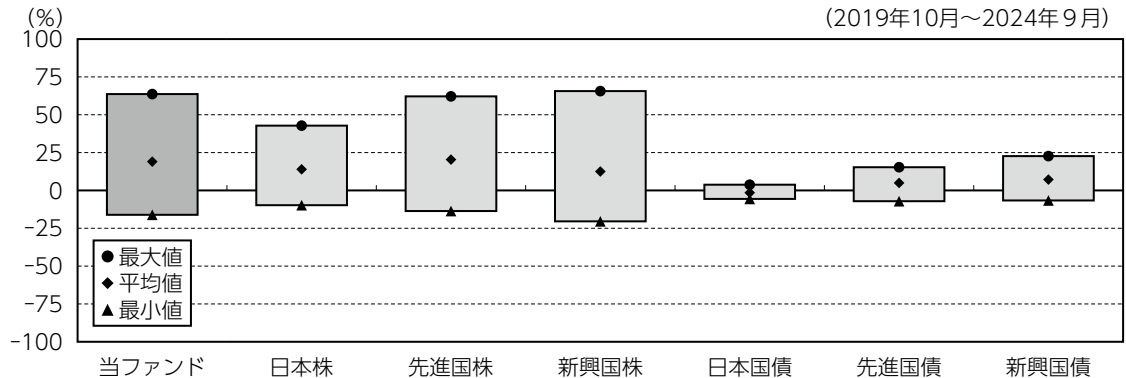
お知らせ

○該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ) 次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) の受益証券 ロ) マネープールファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) の受益証券
運用方法	①主として、次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) の受益証券を通じて、米国の金融商品取引所上場株式 (上場予定を含みます。以下同じ。) に投資し、値上がり益の獲得をめざします。 ②次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) では、主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると判断した企業の株式に投資を行います。 ③次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) では、原則として、為替リスクを回避するための為替ヘッジを行いません。 ④この投資信託は、次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) とマネープールファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) に投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) への投資割合を高位に維持することを基本とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ. およびロ. に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 イ. 計算期末の前営業日の基準価額 (1万円当り。既払分配金を加算しません。以下同じ。) が10,500円未満の場合、原則として、配当等収益の水準を考慮して決定した額を分配することをめざします。 ロ. 計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に応じ、下記の金額 (1万円当り。) を分配することをめざします。 a. 10,500円以上11,000円未満の場合……………300円 b. 11,000円以上11,500円未満の場合……………350円 c. 11,500円以上12,000円未満の場合……………400円 d. 12,000円以上12,500円未満の場合……………450円 e. 12,500円以上の場合……………500円 なお、計算期末の直前から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行わない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	19.0	14.0	20.4	12.5	-1.5	5.0	7.2
最大値	63.7	42.8	62.2	65.6	3.8	15.3	22.7
最小値	-16.1	-9.8	-13.6	-20.4	-5.6	-7.1	-6.6

(注1) 各資産クラスは、当ファンドの投資対象を表しているものではありません。

(注2) 上記は、過去5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

- 日本株……………Morningstar 日本株式指数 (配当込み)
- 先進国株……………Morningstar 先進国株式指数 (除く日本、配当込み、円ベース)
- 新興国株……………Morningstar 新興国株式指数 (配当込み、円ベース)
- 日本国債……………Morningstar 日本国債指数
- 先進国債……………Morningstar グローバル国債指数 (除く日本、円ベース)
- 新興国債……………Morningstar 新興国ソブリン債指数 (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベース指数を使用しております。

*各資産クラスの騰落率に使用している指数について

Morningstar指数は、Morningstar, Inc. (以下「Morningstar」といいます。) により独占的に所有されています。Morningstar、その関連会社または子会社、直接的または間接的な情報提供者、またはMorningstar指数に関連があり、指数の構成、算出、または設定に関わった第三者 (これらの法人すべてを総称して「Morningstarグループ」といいます。) は、Morningstar指数またはそれに含まれるデータの正確性、完全性および/または適時性を保証せず、また、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、当ファンドの保有者もしくはユーザー、またはその他の個人または法人が、Morningstar指数またはそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示または黙示を問わず、いかなる表明・保証もいたしません。Morningstarグループは、Morningstar指数またはそれに含まれるデータについて商品性または特定目的もしくは使用への適合性に関する一切の保証を、明示または黙示を問わず行うことなく、かつ明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害 (逸失利益を含む) について、たとえこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

上記の代表的な資産クラスの指数を変更いたしました。当ファンドの商品性に变更ございません。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド等

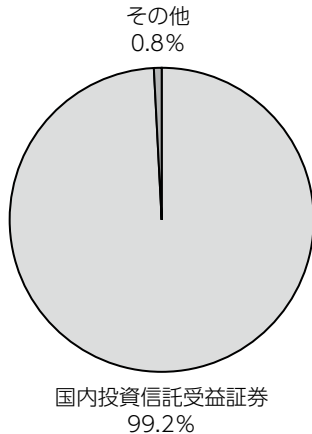
	比率
次世代米国代表株ファンド（FOF s用）（適格機関投資家限定）	99.2%
マネーボールファンド（FOF s用）（適格機関投資家限定）	0.0
その他	0.8

（注1）比率は第30期末における組入有価証券評価額の純資産総額に対する割合です。

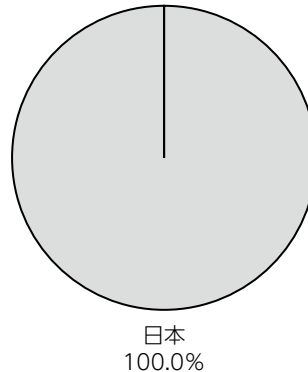
（注2）組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

（注3）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

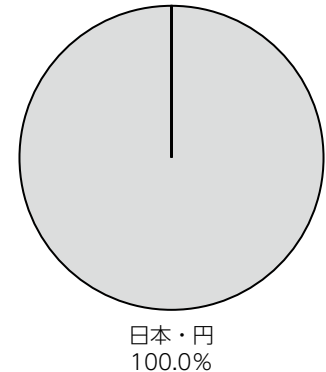
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注1）上記データは2024年10月21日現在のものです。

（注2）比率は第30期末における組入有価証券評価額の純資産総額に対する割合です。

（注3）資産別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

純資産等

項目	第29期末	第30期末
	2024年7月22日	2024年10月21日
純資産総額	12,731,367,158円	12,233,817,199円
受益権総口数	9,363,495,494口	9,575,382,462口
1万口当り基準価額	13,597円	12,776円

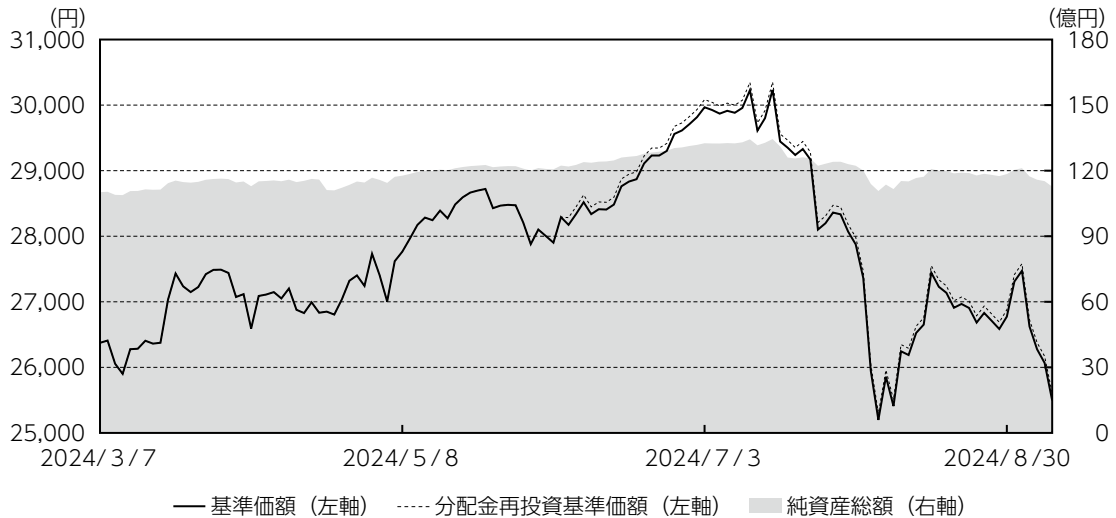
* 当作成期間（第29期～第30期）中における追加設定元本額は1,381,715,270円、同解約元本額は513,470,275円です。

組入上位ファンドの概要

運用状況等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

◆次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）（作成対象期間 2024年3月8日～2024年9月9日）

■基準価額等の推移について



(注) 参考指数は当作成期首の値をファンド基準価額（分配金再投資ベース）と同一になるよう指数化しています。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	第29期～第30期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a)信託報酬	82円	0.294%	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(78)	(0.280)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(0)	(0.001)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.013)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	16	0.056	(b)売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(16)	(0.056)	
(c)有価証券取引税	0	0.000	(c)有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
(d)その他費用	2	0.007	(d)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.005)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	100	0.357	
作成期中の平均基準価額は、27,787円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 組入ファンド等

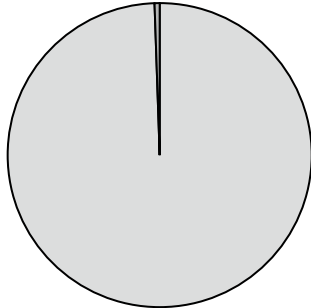
(組入銘柄数：1 銘柄)

ファンド名	第30期末
	2024年9月9日
次世代米国代表株マザーファンド	99.5%

・比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

■ 資産別配分

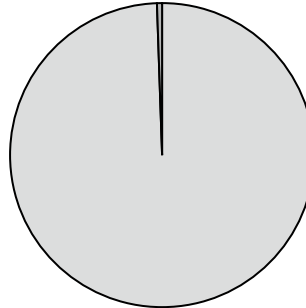
コール・ローン等
0.5%



マザーファンド受益証券
99.5%

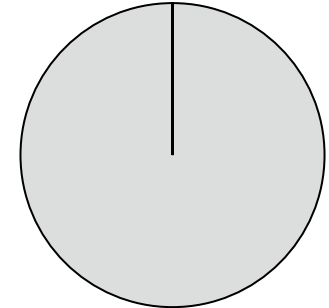
■ 国・地域別配分

その他
0.5%



日本
99.5%

■ 通貨別配分



円
100.0%

・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

・国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含まれます。

※国・地域別配分、通貨別配分は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

※以下のファンドは次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）が組み入れているファンドです。

◆次世代米国代表株マザーファンド（作成対象期間 2024年3月8日～2024年9月9日）

■基準価額の推移



■1万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a)売買委託手数料	31円	0.056%	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(31)	(0.056)	
(b)有価証券取引税	0	0.000	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
(c)その他費用	3	0.005	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.005)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	34	0.061	
期中の平均基準価額は、54,735円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■組入上位10銘柄

(組入銘柄数：30銘柄)

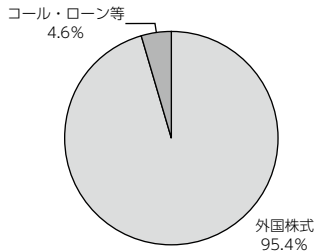
	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率
1	UNITEDHEALTH GROUP INC	株式	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	8.5%
2	GOLDMAN SACHS GROUP INC	株式	アメリカ	金融サービス	8.3%
3	MICROSOFT CORP	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	7.4%
4	AMAZON.COM INC	株式	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	7.4%
5	AMERICAN EXPRESS CO	株式	アメリカ	金融サービス	6.2%
6	AMGEN INC	株式	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	5.3%
7	CATERPILLAR INC	株式	アメリカ	資本財	5.0%
8	TJX COMPANIES INC	株式	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	4.5%
9	VISA INC-CLASS A SHARES	株式	アメリカ	金融サービス	4.4%
10	INTUITIVE SURGICAL INC	株式	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	3.9%

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

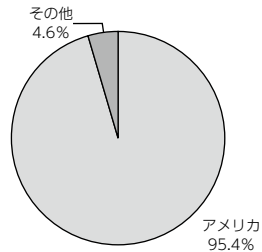
※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

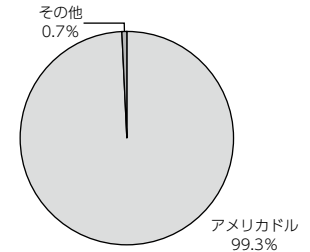
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



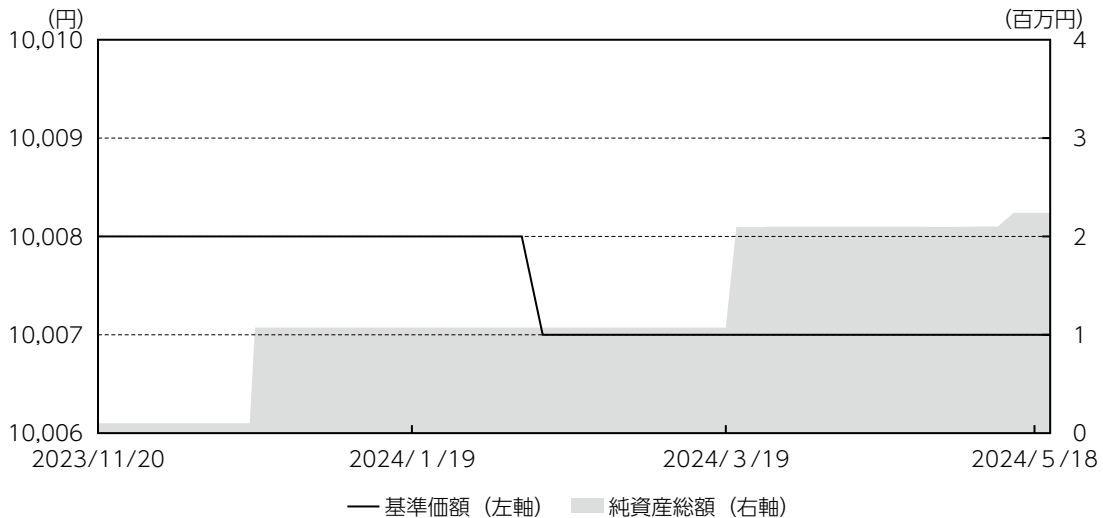
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合わせて運用しているものを含みます。

◆マネープールファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）（作成対象期間 2023年11月21日～2024年5月20日）

■基準価額等の推移について



■1万口当りの費用の明細

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a)信託報酬	2円	0.016%	(a)信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投信会社)	(1)	(0.005)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(1)	(0.005)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.005)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
合計	2	0.016	
期中の平均基準価額は、10,007円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 組入ファンド等

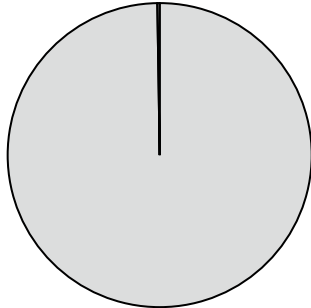
(組入銘柄数：1 銘柄)

ファンド名	第27期末
	2024年 5月20日
マネー・マーケット・マザーファンド	99.8%

・比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

■ 資産別配分

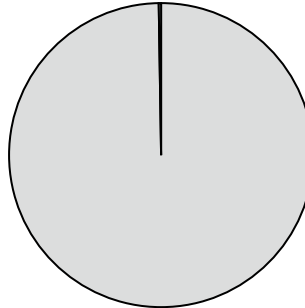
コール・ローン等
0.2%



マザーファンド受益証券
99.8%

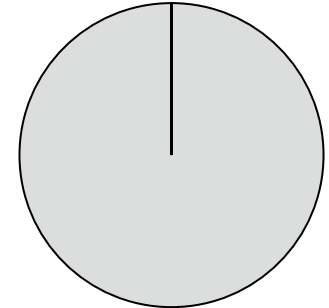
■ 国・地域別配分

その他
0.2%



日本
99.8%

■ 通貨別配分



円
100.0%

・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

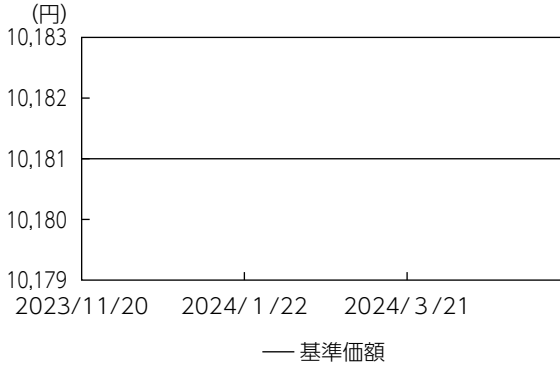
・国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※国・地域別配分、通貨別配分は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

※以下のファンドはマネープールファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）が組み入れているファンドです。

◆マネー・マーケット・マザーファンド（作成対象期間 2023年11月21日～2024年5月20日）

■基準価額の推移



■1万口当りの費用の明細

2023年11月21日～2024年5月20日

当期において費用が発生していないため、費用明細は作成しておりません。

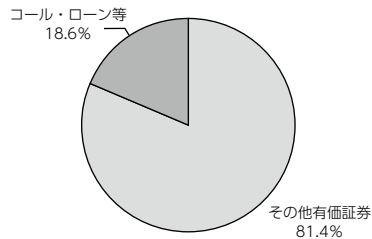
■組入上位10銘柄

(組入銘柄数：2銘柄)

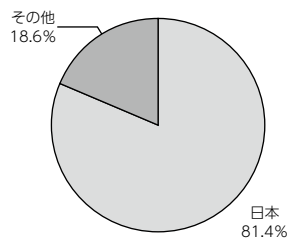
	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率
1	マルベニ 240521	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	74.0%
2	コスモエネHD 240521	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	7.4%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・原則、国・地域については、発行地を表示しています。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

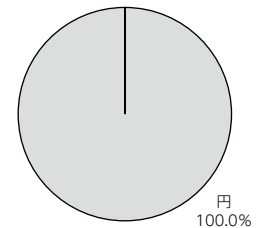
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・原則、国・地域については、発行地を表示しています。
- ・国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。